



基本理念

安全に妥協なし

ネスレは、人の安全が確保されてこそ企業文化や会社業績の持続的な成長が可能であると考えています。従って、ネスレ社員だけでなく私たちの仕事にかかわるすべての人の安全を最優先します。この労働安全衛生方針は、「ネスレの経営に関する諸原則」と「ネスレマネジメント及びリーダーシップの基本原則」に基づき、社員だけでなく外部の方々にも長期的な共通価値を創造するために作成されたものです。

基本方針

コンプライアンス

事故防止に取り組む第一歩として、すべての職場に「ネスレマネジメントシステム」を導入します。このシステムは日本の労働安全衛生法と同等かそれ以上の高い基準で作成されています。

力強い安全衛生組織

私たちは“事故は防げるものだ”と考えています。そこで「ひとつの事故も許さない」を安全スローガンとします。力強い安全文化をつくり上げるために、管理職と一般社員に専門的なアドバイスができる安全衛生組織を確立します。この安全衛生方針を私たちの業務に取り入れて、危険源の特定及びリスクアセスメントを実施し、職場の危険を最小限にします。また、残存リスクへの対処のため緊急時対応および危機管理計画を定めます。

継続的改善

私たちは製造工程、作業の内容および管理システムの設計や導入に際してハイレベルの人間工学と安全志向を取り入れ、安全衛生パフォーマンスを継続的に改善します。また私たちの改善活動は、安全衛生データの監視と事故および職業病の要因となる作業の分析を基礎としています。

リーダーシップと参画

私たちは安全で衛生的な職場環境を確保するためには管理職が重要な役割を果たすと考えています。あらゆる階層の管理職は、安全で衛生的な職場環境を確保するために強い指導力を発揮し、言行一致を自ら示すことが求められます。そして、この分野での貢献を管理職の個人目標に組み入れなければなりません。また、この職場での安全衛生を確保するためには作業員全員の参画も必要です。

行動への取組み

ネスレは事故防止の重要な要素として人の行動に重きを置きます。事故のほとんどは人の行動によって起こっています。従って、社員が同僚や上司と安全行動および危険行動について対話する“行動に基づく安全活動”を計画的に行います。

コミュニケーションと教育訓練

安全衛生に対して前向きな企業文化を醸成するために、「ネスレマネジメントシステム」を導入し、ネスレの社員だけでなく契約業者、納入業者など外部の方々とも意思疎通を図り、絶えず改善し続けていきます。社員には必要な教育訓練を行って危険な状態の回避や不測の事態にも迅速に対処できるようにします。さらに契約業者、納入業者および地域社会における安全衛生の教育訓練にもかかわっていきます。

実行と認証・監査

「ネスレマネジメントシステム」の実践により、この方針をすべての職場に導入し定期的に監査します。それが確実に守られ持続されていることを保証するために、第三者機関による ISO45001 認証システムをすべての製造事業所に取り入れています。

2020年9月1日

深谷 龍彦
ネスレ日本(株) 代表取締役 社長 兼 CEO